

第5回統合イノベーション戦略推進会議議事録

1. 日時 令和元年6月11日(火) 8:21~8:37

2. 場所 総理官邸2階小ホール

3. 出席者

議長	菅 義偉	内閣官房長官
議長代理	平井 卓也	内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
副議長	宮腰 光寛	内閣府特命担当大臣(海洋政策)
構成員	石田 真敏	総務大臣
同	山下 貴司	法務大臣
同	麻生 太郎	財務大臣
同	柴山 昌彦	文部科学大臣
同	跛川 貴盛	農林水産大臣
同	世耕 弘成	経済産業大臣
同	石井 啓一	国土交通大臣
同	原田 義昭	環境大臣
同	岩屋 毅	防衛大臣
同	渡辺 博道	復興大臣
同	山本 順三	国家公安委員会委員長
同	片山さつき	内閣府特命担当大臣(地方創生・規制改革)
同	鈴木 俊一	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 担当大臣
	田中 良生	経済再生担当副大臣
	新谷 正義	厚生労働大臣政務官
	辻 清人	外務大臣政務官
	野上浩太郎	内閣官房副長官
	西村 康稔	内閣官房副長官
	杉田 和博	内閣官房副長官
	和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官

4. 議題

(1) 統合イノベーション戦略2019(素案)について

5. 資料一覧

- 資料1 - 1 統合イノベーション戦略2019(概要)(案)
- 資料1 - 2 統合イノベーション戦略2019(素案)
- 資料2 - 1 AI戦略2019(案)(概要)
- 資料2 - 2 AI戦略2019(案)
- 資料3 - 1 バイオ戦略2019(案)(概要)
- 資料3 - 2 バイオ戦略2019(案)
- 資料4 Beyond Limits. Unlock Our Potential.
- 資料5 - 1 - 1 量子技術イノベーション戦略 中間整理(概要)
- 資料5 - 1 - 2 量子技術イノベーション戦略 中間整理
- 資料5 - 2 有識者会議「安全・安心」まとめ(中間報告)
- 資料5 - 3 「革新的環境イノベーション戦略」の検討について
- 資料5 - 4 スマートシティ官民連携プラットフォームの設置について

6. 議事

【平井科学技術政策担当大臣】

それでは、第5回統合イノベーション戦略推進会議を開会いたします。

本日の議題は、「統合イノベーション戦略2019(素案)について」です。

各大臣におかれましては、「統合イノベーション戦略2019」の策定に向けて御尽力いただき、感謝申し上げます。

まず、お手元にある資料1-1に沿って、「統合イノベーション戦略2019」素案の概要を説明いたします。

昨年、統合イノベーション戦略を策定しましたが、この1年間、デジタル化の更なる進展など、科学技術イノベーションを取り巻く状況は国内外で大きく進展し、変化しています。かかる状況を踏まえ、本戦略の素案を策定しました。ポイントは四つです。

第1に、Society 5.0の社会実装を強化します。スマートシティの実現に向け、府省合同で官民連携プラットフォームを立ち上げるとともに、G20においてグローバル・スマートシティ連合を提唱し、取組を推進します。

第2に、研究力の強化を図ります。「人材」、「資金」、「環境」の三位一体改革を中心とした「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」を本年末までに策定します。

第3に、国際連携を抜本的に強化します。具体的には、国際ロードマップ策定支援などを通じて、SDGsを踏まえたSociety 5.0の国際展開を進めます。

第4に、AI、バイオ、量子技術など個別分野の取組を強化します。

次に、統合戦略の中でも重要な「AI戦略」、「バイオ戦略」、「創業」について御説明申し上げます。

まず、「AI戦略」です。資料2-1の1ページ目を御覧ください。

3月に報告した「有識者提案」を踏まえて、政府のAI戦略案を取りまとめました。本文は資料2-2です。本戦略により、3月に決定した「人間中心のAI社会原則」に基づく、AIの健全な社会実装を推進します。ポイントは、「全ての国民に対する基礎的リテラシー教育」、「世界をリードする研究開発」、「社会実装」、「トラスト」、「セキュリティ対策の国際連携」の4点です。

次に、「バイオ戦略」です。お手元の資料の3-1の1ページを御覧ください。

バイオ戦略では、有識者提言を踏まえ、2030年に世界の最先端のバイオエコノミー社会を実現することを目指し、戦略案を取りまとめました。本文は資料3-2としています。ポイントは、「市場領域を絞ったロードマップ策定」、「国際バイオコミュニティ圏の形成」の2点です。

次に、「創業」についてです。

今回、内閣府・文部科学省・経済産業省にて、スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略を取りまとめました。資料4に説明がございます。「スタートアップ・エコシステム拠点都市の形成」、「大学を中心としたエコシステム強化」、「世界と伍するアクセラレーションプログラムの提供」、「技術開発型スタートアップの資金調達等の促進」、「政府、自治体がスタートアップの顧客となる仕組み」、「エコシステムの繋がり形成の強化」、「研究開発人材の流動化促進」、の7つの戦略を実行します。

次に、他の分野の検討状況につきましても簡単に御報告申し上げます。

「量子技術」の分野については、量子技術イノベーションの「融合領域」の設定や国際的な拠点の形成などを軸とした量子技術イノベーション戦略を本年末までに策定します。中間整理を資料5-1-1と資料5-1-2として配布してあります。

「安全・安心」の分野については、計3回の有識者会議での御意見を、資料5-2に示すとおり、統合イノベーション戦略に反映しました。安全・安心の実現に向けた方向性を、本年末を目途に取りまとめます。

「環境エネルギー」の分野については、本年4月2日の第5回パリ協定長期成長戦略懇談会における安倍総理の指示を踏まえ、「革新的環境イノベーション戦略」を資料5-3の2ページに示した体制で検討し、本年中に策定します。

最後に、イノベーション関連の司令塔機能強化について早急に検討いたします。

では、関係大臣からの御発言いただきたいと思っております。

まず、柴山文部科学大臣、お願いします。

【柴山文部科学大臣】

文部科学省としては、統合イノベーション戦略2019も踏まえ、我が国の研究力向上に向け、「人材」、「資金」、「環境」の改革を大学改革と一体的に、着実に進めてまいります。

また、本日御説明のあった「AI」、「バイオ」、「創業」の各戦略については、AI、数

理、データサイエンス教育の充実や研究開発の取組の強化、ゲノム等のデータ基盤の整備や研究開発の推進、大学における起業家教育や起業活動に対する支援機能の強化等を大学や研究機関等、現場の声を聞きながら、関係府省と連携し、全力で取り組んでまいります。

さらに「量子」、「環境・エネルギー」、「安全・安心」等についても、今後の戦略策定等に向けて、引き続き、関係府省としっかり連携して取り組んでまいります。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、世耕経済産業大臣、お願いします。

【世耕経済産業大臣】

Society 5.0やコネクテッド・インダストリーズの実現に向けて、統合イノベーション戦略に掲げられた戦略的な研究開発の推進や創業環境の強化、イノベーション・エコシステムの創出等にしっかりと取り組んでまいります。

具体的には、将来のビジネス化を見据えた挑戦的な技術シーズの発掘や育成、国際連携、ムーンショット型研究開発、コネクテッド・インダストリーズを推進するAIやIoT、ロボット、バイオ等の革新的技術開発、NEDOと民間の協調支援やオープンイノベーション協議会の機能強化など、J-Startupを中心とした研究開発型ベンチャーエコシステムの構築・強化、官民協調による若手研究者の支援、産学連携ガイドラインの充実など、産学融合の促進のための環境整備、パリ協定に基づく長期戦略を踏まえた革新的環境イノベーション戦略の策定を進めてまいります。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、石田総務大臣、お願いします。

【石田総務大臣】

先週末、世耕大臣、河野大臣とともに共同議長を務めたG20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合におきまして、閣僚声明にG20のAI原則を盛り込みました。

また、AIが社会に与える雇用や格差への影響の懸念を踏まえ、AI時代の社会像の検討を始めるべきと問題提起を行い、多くの賛同を得ました。今後も国際的検討を深めてまいります。

AIはSociety 5.0を支える基盤技術であり、AI戦略を踏まえ、地域の大学や企業等と連携し、地域の医療や行政などへのAIの実装等を推進します。

基盤技術の研究開発につきましては、情報通信研究機構は、他の機関と連携し、多言語音声翻訳等のAI技術や量子暗号技術の研究開発に取り組めます。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、跛川農林水産大臣、お願いします。

【**跛川農林水産大臣**】

農林水産分野において、担い手の減少、高齢化などの課題を解決し、成長産業化につなげていくためには、イノベーションを推進していくことが不可欠であります。

今回、AI戦略、バイオ戦略及び統合イノベーション戦略素案に位置づけられた「食」、スマート農業を含めた「スマートフードチェーン」、「育種」、「木材活用大型建築・スマート林業」などの分野で積極的にイノベーションを推進してまいりたいと考えております。

【**平井科学技術政策担当大臣**】

次に、石井国土交通大臣、お願いします。

【**石井国土交通大臣**】

Society 5.0の実現に向けて、スマートシティ、自動運転やMobility as a Service、MaaS等の新たなモビリティサービスの実現、i-Constructionの推進、国土交通データプラットフォームの構築などの取組を進めております。

特にスマートシティについては、先般取組を牽引するモデル事業等を決定しました。今後、官民連携プラットフォームを内閣府、総務省と立ち上げるなど、更なる進化を目指します。

引き続き関係府省と連携し、各種戦略を着実に実行してまいります。

【**平井科学技術政策担当大臣**】

次に、原田環境大臣、お願いします。

【**原田環境大臣**】

AIやバイオも含め、各分野でのイノベーションを創出してSDGsを達成し、また脱炭素社会を実現することが重要であります。そのモデルが地域資源を活用した自立分散型社会である地域循環共生圏を形づくってまいります。

環境省としては、地域循環共生圏とSociety 5.0の一体的実現を目指すとともに、CO₂を資源に変えるCCUS、プラスチック代替素材等の革新的な技術開発を推進します。

こうした施策により、統合イノベーション戦略の推進に積極的に貢献してまいります。

【**平井科学技術政策担当大臣**】

次に、岩屋防衛大臣、お願いします。

【**岩屋防衛大臣**】

我が国の周辺には、質・量ともに優れた軍事力を有する国家が集中しており、かつ、先端技術の開発・獲得に積極的に取り組んでいます。

このような状況の中で、我が国としても、政府全体として優れた科学技術を活かし、防衛につながる技術基盤を強化することがこれまで以上に重要です。特に、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域に関する技術や、AI技術等のゲームチェンジャーとなり得る最先端技術に重点的に取り組む必要があります。

そのためには、本戦略の下、防衛省と関係府省庁及び産学官が連携することが不可欠です。省外で実施される研究開発成果の取り込み、国立研究開発法人等との研究協力、産学官との連携強化などによって、防衛技術基盤の一層の強化を図ってまいります。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、辻外務大臣政務官、お願いします。

【辻外務大臣政務官】

世界は再生可能エネルギーの時代を迎えており、日本は先進的な技術とイノベーションの力を一層活用することで、世界をリードしていくべきと考えます。時代に即した効果的なリソースの配分が重要です。

また、SDGs達成のための科学技術イノベーションの推進や国際連携の強化について、G20やTIAD7の機会も捉え、外務省としても取り組んでいく所存です。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、新谷厚生労働大臣政務官、お願いします。

【新谷厚生労働大臣政務官】

厚生労働省といたしましては、健康・医療・介護の分野でICTデータを積極的に活用すること、また、AIの社会実装を実現すること等によりまして、国民の健康寿命の更なる延伸を目指すとともに、効果的・効率的な医療・介護サービスの提供を図ってまいりたいと考えております。

今回の統合イノベーション戦略2019、AI戦略、バイオ戦略を踏まえまして、引き続き関係府省庁・産学官と緊密な連携を図りまして、着実にイノベーション政策を推進してまいります。

【平井科学技術政策担当大臣】

ありがとうございました。

それでは、「統合イノベーション戦略2019素案」、「AI戦略2019」及び「バイオ戦略2019」につきまして、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(異議なし)

【平井科学技術政策担当大臣】

ありがとうございます。

それでは、原案のとおり決定いたします。

本日御議論いただいた素案につきましては、今後、与党調整を経て、今月中旬のC S T I本会議答申及び閣議決定に向けて所要の進めを進めてまいります。

今後は、関係本部・省庁が連携・協力し、一丸となって統合戦略の確実な推進に取り組む必要があります。各大臣におかれましては、引き続き御協力をお願い申し上げます。

では、最後に菅官房長官から御挨拶をいただきます。

(プレス 入室)

【菅官房長官】

本日議論いただきました「統合イノベーション戦略2019」について、平井大臣は、与党とも議論を深め、速やかに本戦略を取りまとめていただきたいと思います。特に、イノベーション関連の司令塔機能強化については、早急に検討願います。

また、本日決定をしました「AI戦略」、「バイオ戦略」については、関係閣僚が協力して、着実に実行していただきたいと思います。

また、「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」については、平井大臣、世耕大臣、柴山大臣が関係閣僚とも協力し、政府一丸となって取り組んでいただきたいと思います。

さらに、「量子技術イノベーション」、「安全・安心分野」、「革新的環境イノベーション戦略」については、年末まで精力的に検討し、成果を取りまとめていただくとともに、加えて、スマートシティについては、官民連携プラットフォームを早期に立ち上げ、関係大臣は協力しながら、取組を加速してください。

(プレス 退室)

【平井科学技術政策担当大臣】

本日の議事は以上です。

資料及び議事録は、全て公表させていただきます。

以上で会議を終了します。